

登録コード	T0007900	開講年度	2026				
授業科目	数学科指導法演習 I (16T以降)					担当教員	志津 千代子
英文授業名						副担当	
単位数	1	講義期間	後期(前半)	曜日・時限	火曜・5時限	対象学生	
講義室	工W1-215教室			授業形態	演習	遠隔授業科目	
備考							
信大コンピテンシー	非該当						
(1)授業の達成目標	【授業で得られる「学位授与の方針」要素】					⇔	【授業の達成目標】
	2 3Tカリ						
	【22T～】様々な課題を見つけ取り組む力が身についている。					⇔	業づくりの基本的な考え方と方法等を学ぶことを通して、実際の授業をデザインすることができるようになる。また、素材並びに教材の研究を行う中で、生徒の実態に応じた教材研究や教材開発ができるようになる。
(2)授業で学べる「テーマ」	キャリア						
(3)全学横断特別教育プログラム							
(4)授業の概要	グループごとに中学校数学の学習内容に関する教材研究や教材開発を行い、指導計画を作成する。						
(5)授業計画	第1回：授業づくりの基本的な考え方と方法、グループ編成 第2回：数学科の授業づくりのポイント 第3回：各グループのテーマ（学習内容）の決定 第4回：素材ならびに教材の研究 第5回：教材開発並びに指導計画作成 第6回：作成した指導計画の発表（前半グループ） 第7回：作成した指導計画の発表（後半グループ） 第8回：指導計画の検討・評価 後期前半の学びの振り返りをするために、授業の最後の15分間に授業アンケートを実施						
(6)成績評価の方法	グループ活動、教材開発への取り組み、発表等を総合的に判断して評価する。						
(7)成績評価の基準	（i）講義内容の理解（ii）当日に課された課題レポートの内容（iii）グループでの取り組み状況（iv）教材研究・授業計画の内容（v）発表(プレゼンテーション)の仕方（vi）積極性等の授業への取り組み状況 のいずれにおいても達成目標で想定したレベル以上であれば「卓越している」、5項目までできていれば「かなり上にある」、4項目までできていれば「やや上にある」、3項目までできていれば「合格水準にある」。						
(8)事前事後学習の内容	毎回の授業の最後に、当日の授業内容の理解を問う課題や次回の授業内容につながる課題を出す。次回の授業の冒頭で課題用紙を回収し、内容等を含め取り組み状況をチェックする。併せて、取り組み内容について、幾名かの受講生に説明をしてもらうので、記載内容についてきちんと説明できるようにしておくことが求められる。また、授業計画の発表に際しては、グループの取り組み状況を簡潔にレポートにまとめて提出するとともに、教材研究の成果等をしっかりとアピールできるように、ポイントをわかりやすくきちんとまとめたうえで発表にのぞむこと。						
(9)履修上の注意							
(10)質問、相談への対応	講義時間の前後に講義室にて質問・相談を受け付ける。						
(11)その他							
【教科書】	中学校学習指導要領（文部科学省）・中学校学習指導要領解説「数学編」（文部科学省） 高等学校学習指導要領（文部科学省）・高等学校学習指導要領解説「数学編」（文部科学省）						
【参考書】							